

提出 2011年1月16日

## 会合議事録

研究会名： 第9回顕微ナノ材料科学研究会

日時： 2010年12月10日（金）10:00～12月11日（土）15:00

場所： 東工大 蔵前会館（大岡山駅前）

出席者：大門 寛（代表、奈良先端大）、越川 孝範（大阪電通大）、渡辺 義夫（JST-ERATO・慶應大）、木下 豊彦（JASRI）、小嗣 真人（JASRI）、79名

計83名

議題： 最近の関連研究の講演、顕微ナノ材料科学進展状況などの報告、及び来年度の研究会の活動方針の策定

議事内容：

### 1. シンポジウム

研究会に関連する話題であるトポロジカル絶縁体、Rashba 分裂スピン状態、表面吸着分子誘起電子状態、グラフェン、PEEM・LEEM などについて第一線の中堅の方々に講演していただくシンポジウムとポスターセッションを行い、関連研究の最先端について情報交換を行った。

### 2. 来年度の活動方針について

来年度も、引き続いてシンポジウムを開催し、研究会活動を活発に行う。来年度のシンポジウムは、大阪電通大の越川教授が世話人となって関西で開催することが決定した。

\*利用懇への要望もしくは JASRI への要望がございましたらお書きください。

今回は利用懇から会場費を補助していただき、また SPring-8 利用推進協議会産業利用研究会からも交流会の補助を戴いて、有意義な会が開催できた。今後もご支援をお願いしたい。